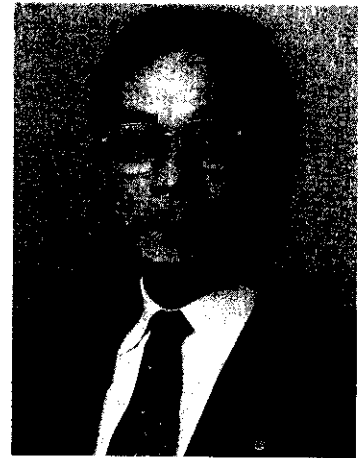


巻 頭 言

常務取締役 大西 建 男



温暖化防止など地球環境保全や循環型社会の構築が強く求められています。我が国の場合、2000 年 5 月に「循環型社会形成推進基本法」などリサイクル社会を目指す一連の法案が成立するなど 2000 年を循環型社会元年と位置付けられています。

我が国の物質収支（1998 年度）を見ると、輸入・国内資源・再生資源を合わせた総物質投入量の 20.2 億トンに対して再生利用量は 2.0 億トンと約 10% であり、循環型社会構築のためには、この割合を一層高める必要があります。また、我が国の廃棄物のリサイクル率は、一般廃棄物で約 11%、産業廃棄物では約 41%（いずれも 1997 年度）の水準に留まっており、国内資源としての廃棄物のリサイクル・資源化を強力に推進する必要があります。

我々鉄鋼業に従事している者の使命は、鉄の極限機能を追求し、高機能製品を社会に供給していくことにより、省資源化、省エネルギー化、ひいては地球環境保全に貢献していくことにあります。また、鉄鋼製造にさいして、環境負荷を低減するとともに、製鉄で培われたパイロメタラジー技術（高温・高熱技術）を、廃棄物処理・再資源化へ積極的に展開し、循環型社会構築に貢献していくことが鉄鋼業の社会的役割の一つと考えられます。

当社は、事業活動を行っていく上で、地球環境保全を企業の最優先事項と認識し、現在および将来の環境に対する負荷を低減するとともに、さらなる環境負荷の低減のために革新的技術の開発を推進してまいりました。特に、自社の副産物に対するリサイクル率は 1997 年度以降で 99.5% に達しています。

本特集号では、地球温暖化防止のための省エネルギー技術、環境負荷低減技術、パイロメタラジー技術の廃棄物処理への展開による資源化技術など当社における循環型社会構築への取り組みを紹介しております。

今後とも、鉄鋼製造過程での環境負荷低減および循環型社会構築に貢献できる技術開発を展開する所存であり、一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。